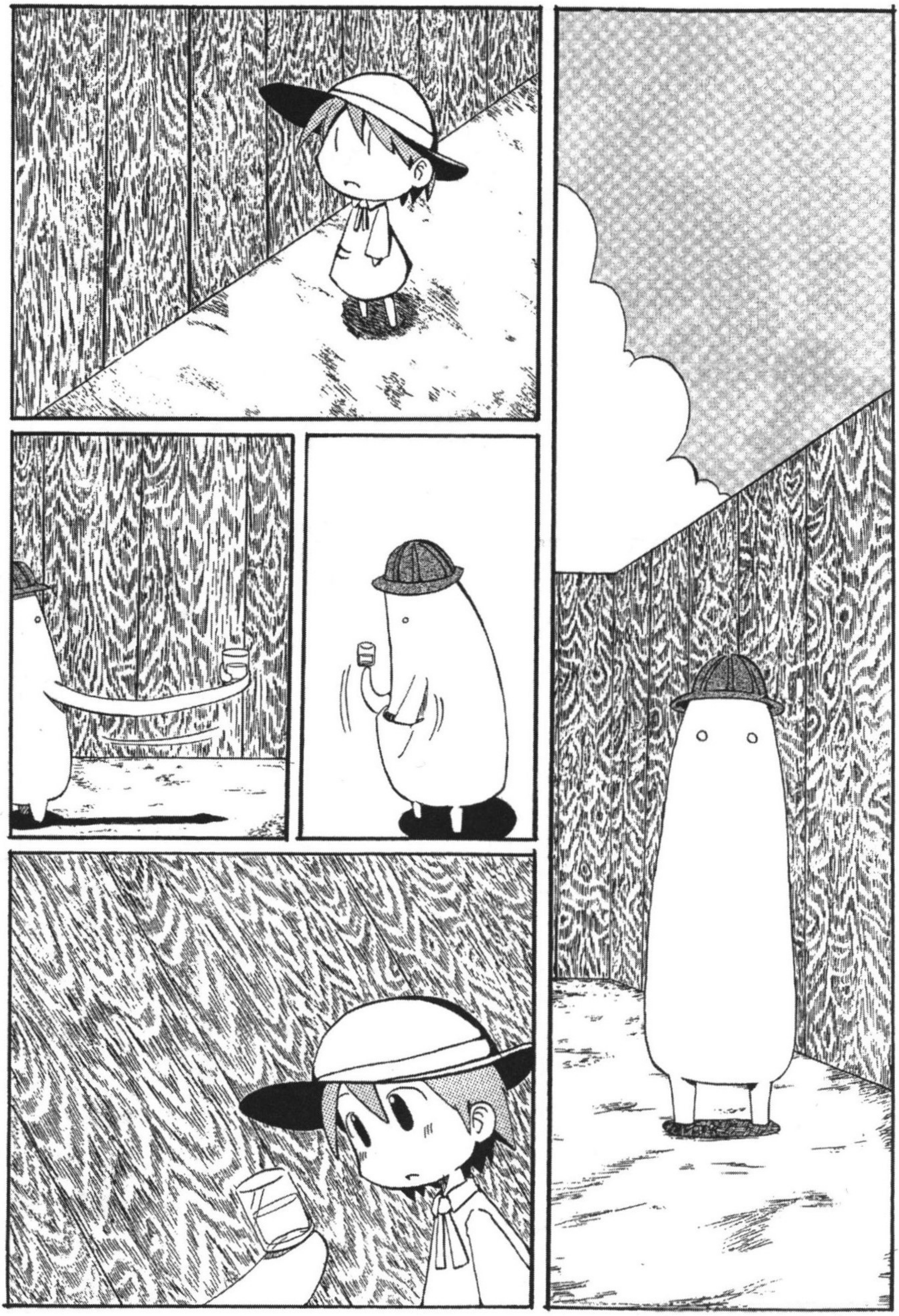
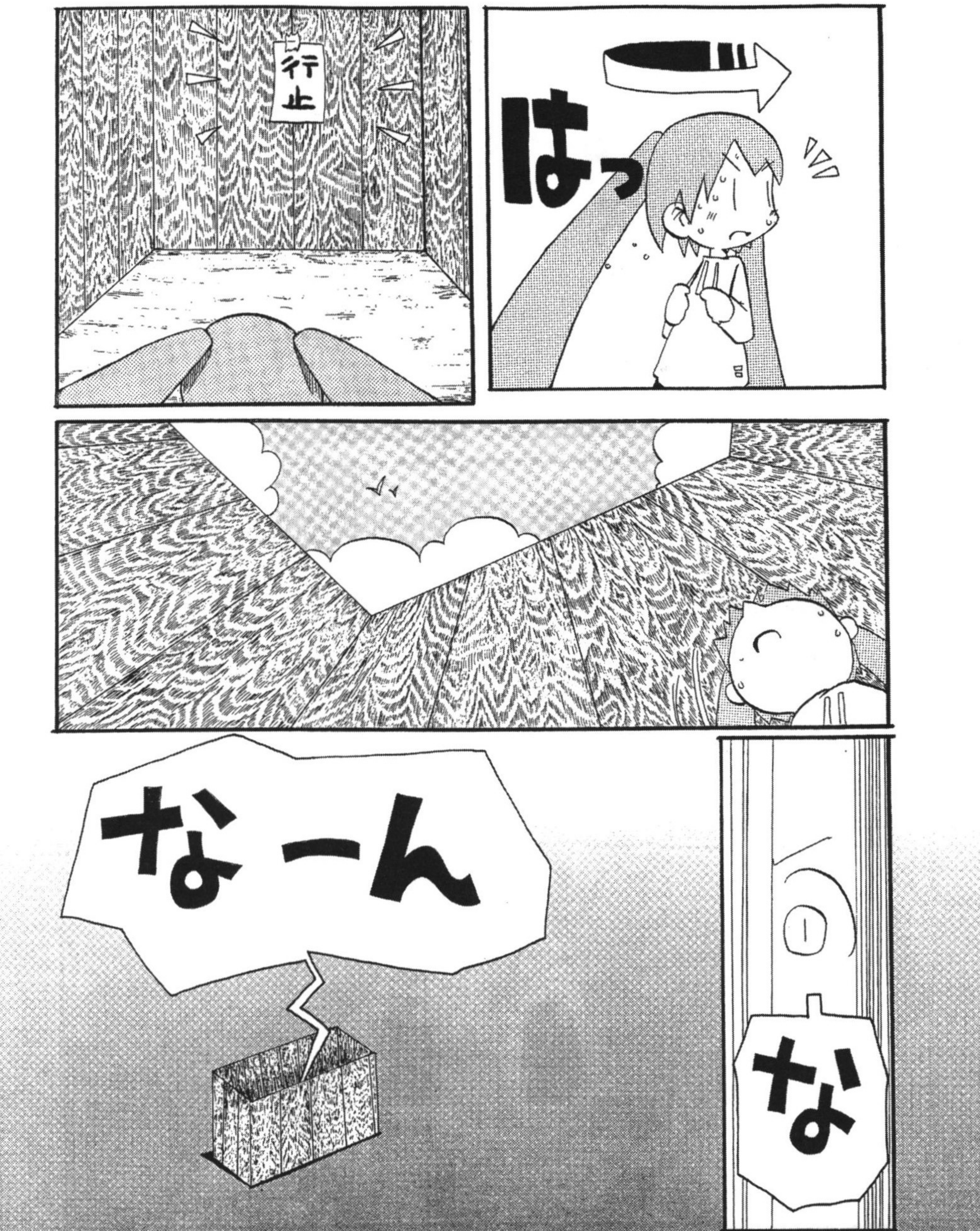



それでね
私聞いたんだ
武田観柳斎徳国と
谷三十郎供団の
どっちがいい?って
うん
うん
そしたらね
「私は組長クラスには
興味ないの」って
ゆーの
ハッ
はっ
組長でいったら
私はだんぜん
谷三十郎か
永倉新八ね
んでね　こう言うんだ
「時代は勘定役よ、
河合耆三郎義輝様
オンリーなの」だって。
なんじゃそりゃーって
ハハハ
ちょっ
ちょっちょ


ゴッ
プスー
覗
トス

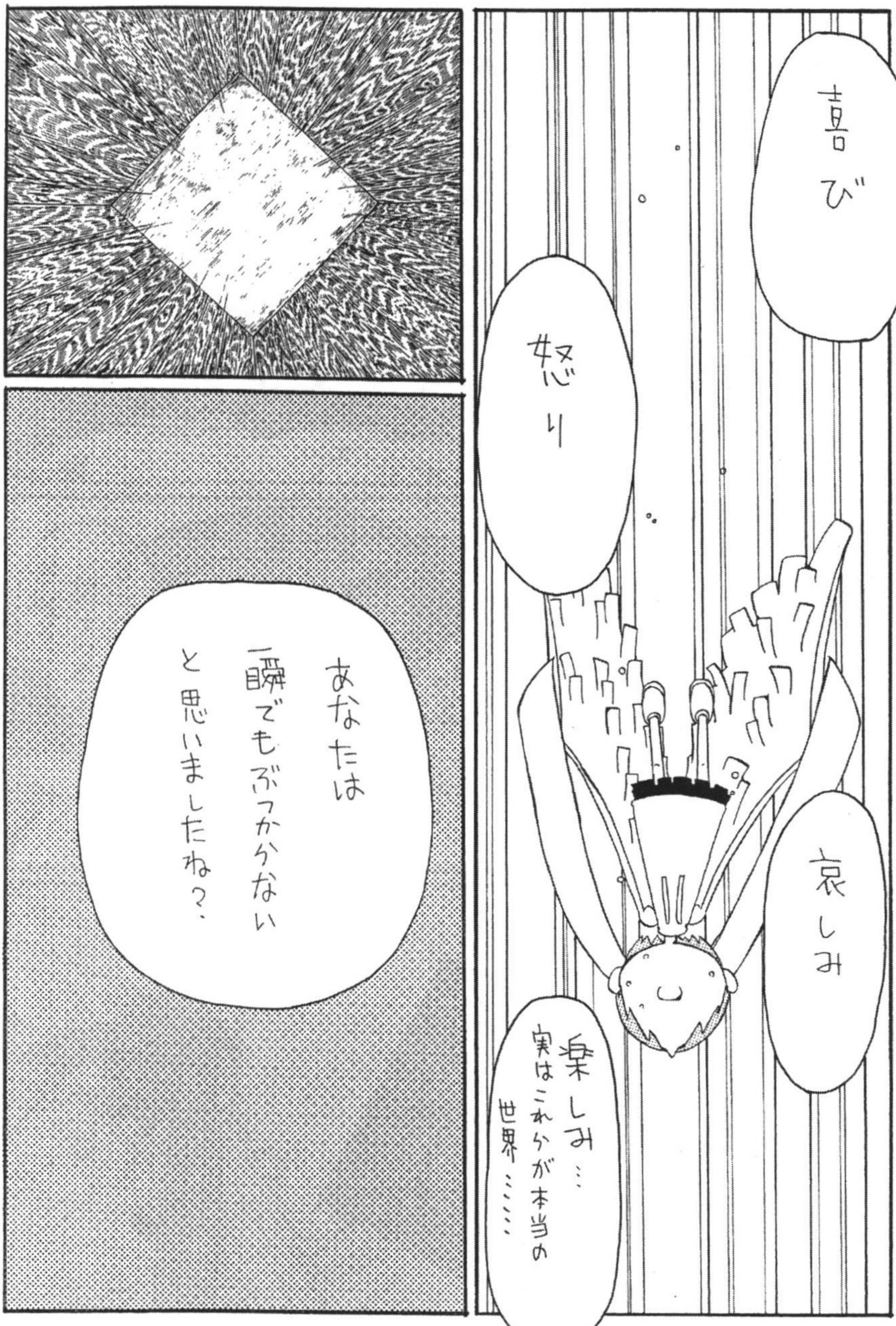

はっ
行止
な
なーん

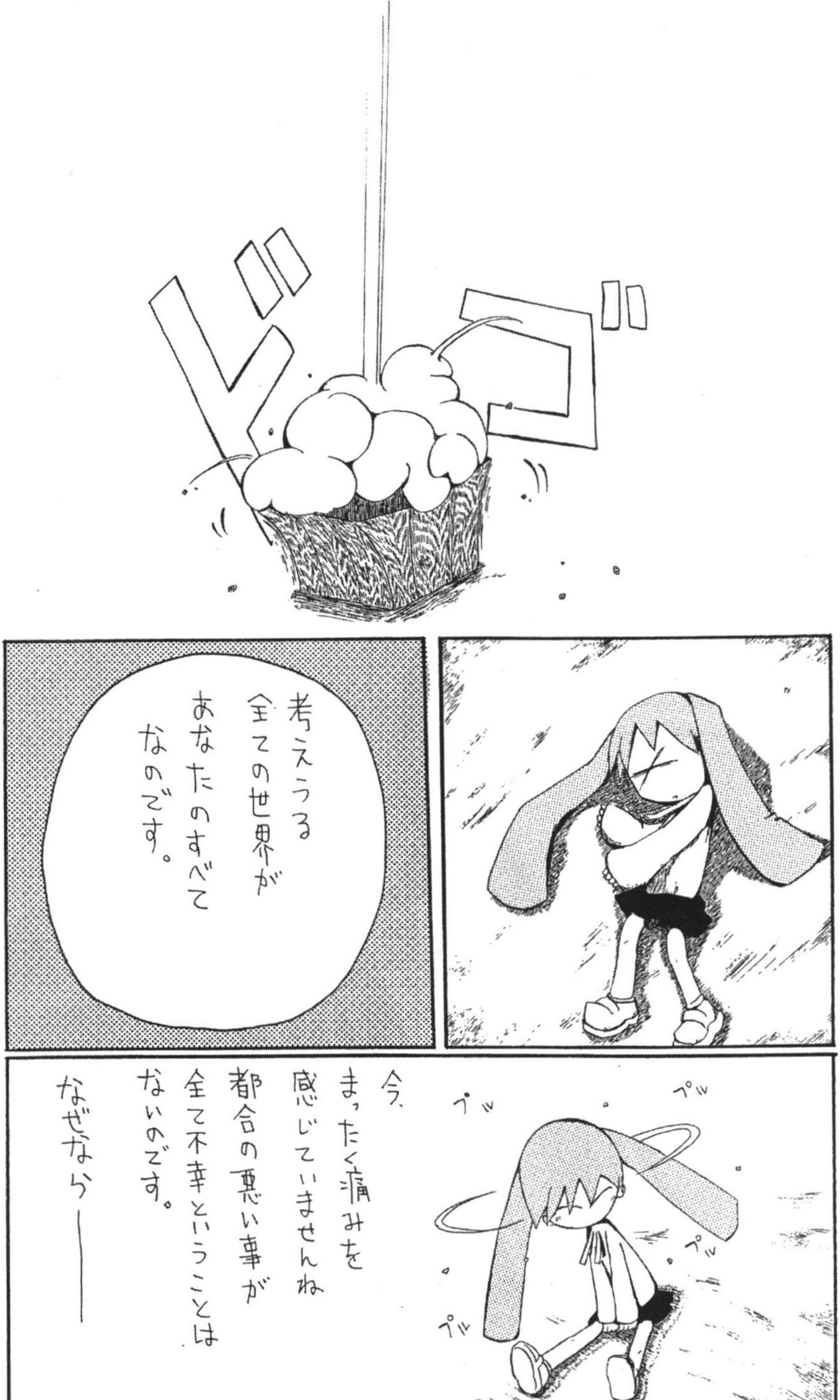
はね

あらなけいいち

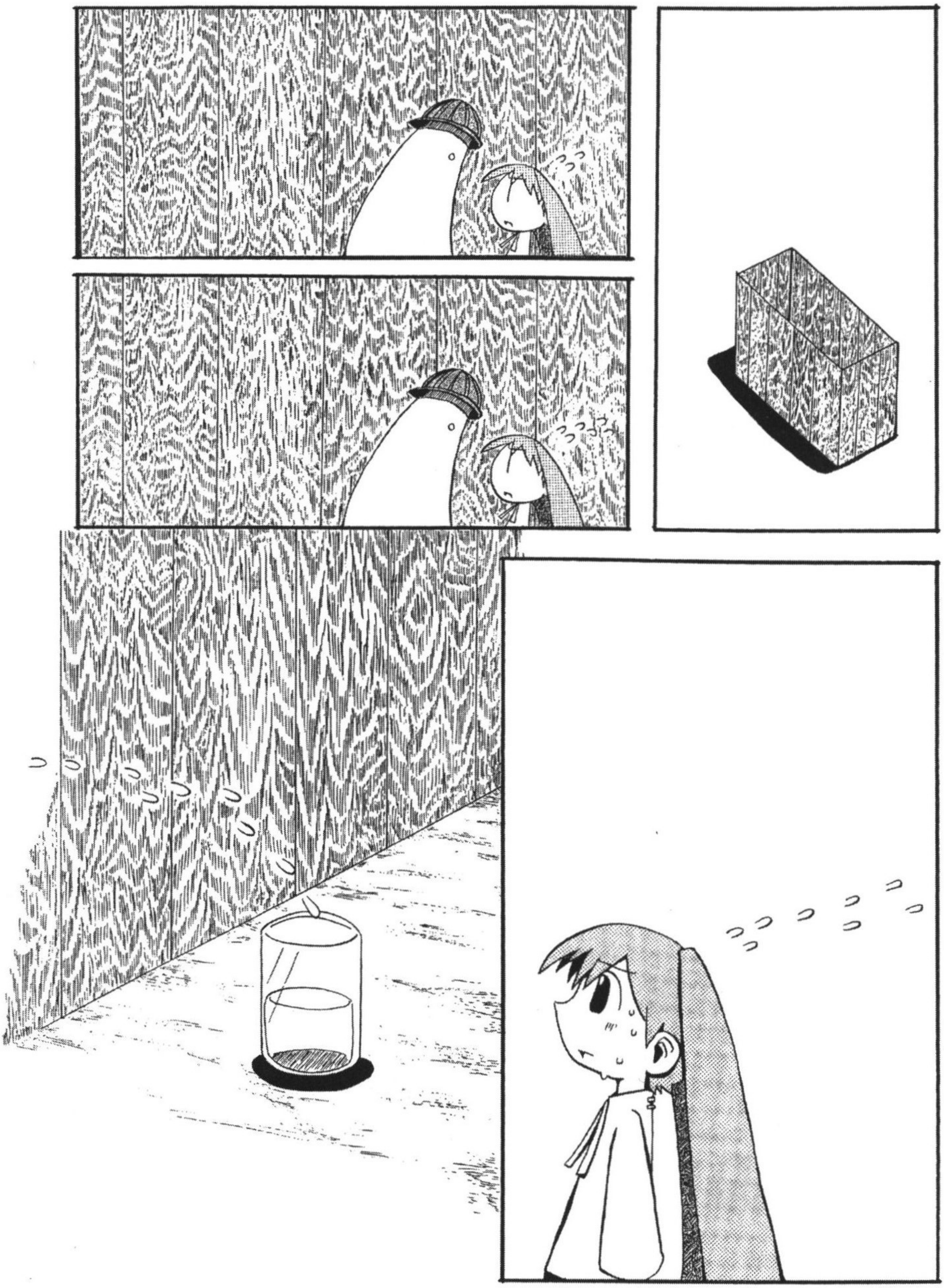

自分が思っている世界が全ての世界と思っているのではありませんか？
私は誰なのか？という疑問をぶつけようとしてはいませんか？
ここはどこ？という質問をぶつけようとしてはいませんか？
なぜ閉じ込められたのか？友人はなぜ気づかなかったのか？なぜ昔の自分がいたのか？そしてなにを渡していたのか？
このままどうしてしまうのか？すぐに開放されるのか？こんなのは現実ではなく夢だと思っているのではありませんか？


結局は自分のことしか考えられずその中で結論を見い出しいみじくも正解だと思いこんでしまう
正しい世界だと無意識に思い込んでいる世界こそ閉鎖的な煩悩の世界なのです。色も、音も、外見も全てそうなのです。
無論あなたが人間という証拠もないのです。
むくむく
バサッ
あなたが先ほど包まれていた自然がこの板の中で生まれそして消えてゆく。なんかおかしい事はありません

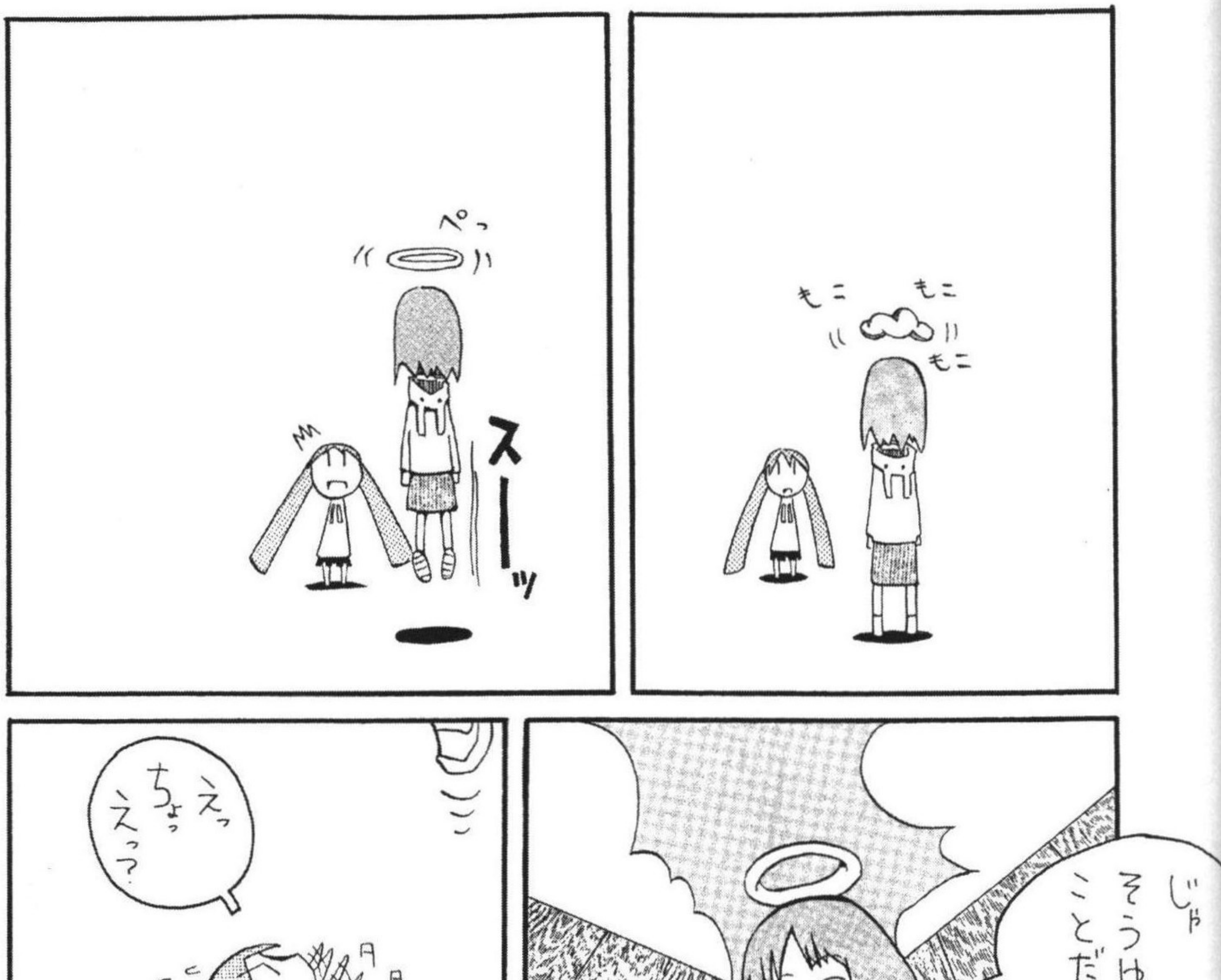

喜び
怒り
哀しみ
楽しみ……
実はこれが本当の世界………
あなたは一瞬でもぶつかからない
と思いましたね？

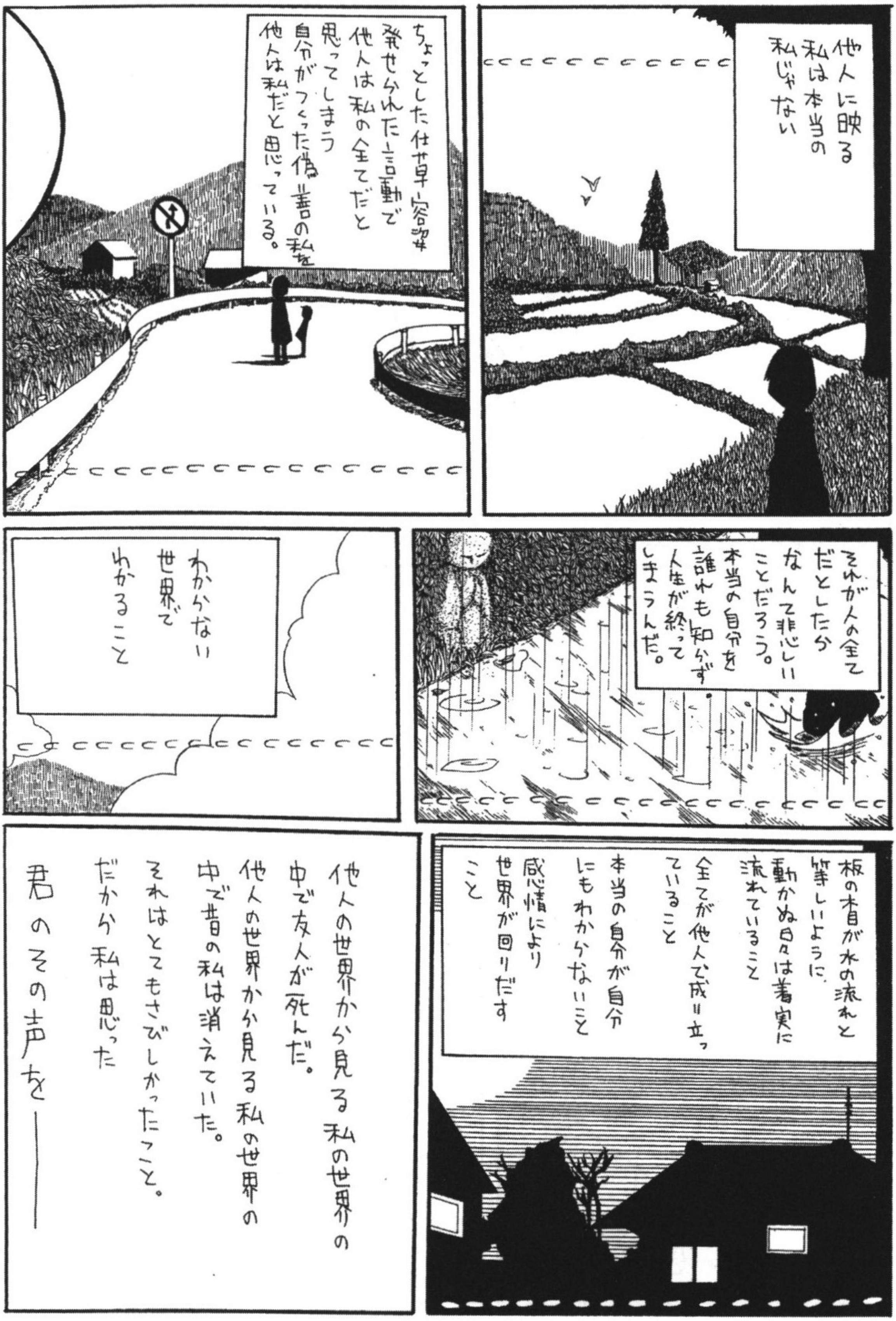

ドゴ
考えうる
全ての世界が
あなたのすべて
なのです。
今、
まったく痛みを
感じていませんね
都合の悪い事が
全て不幸ということは
ないのです。
なぜなら――
プル
プル
プル
プル


ここは私の中のあなたの世界だからです。

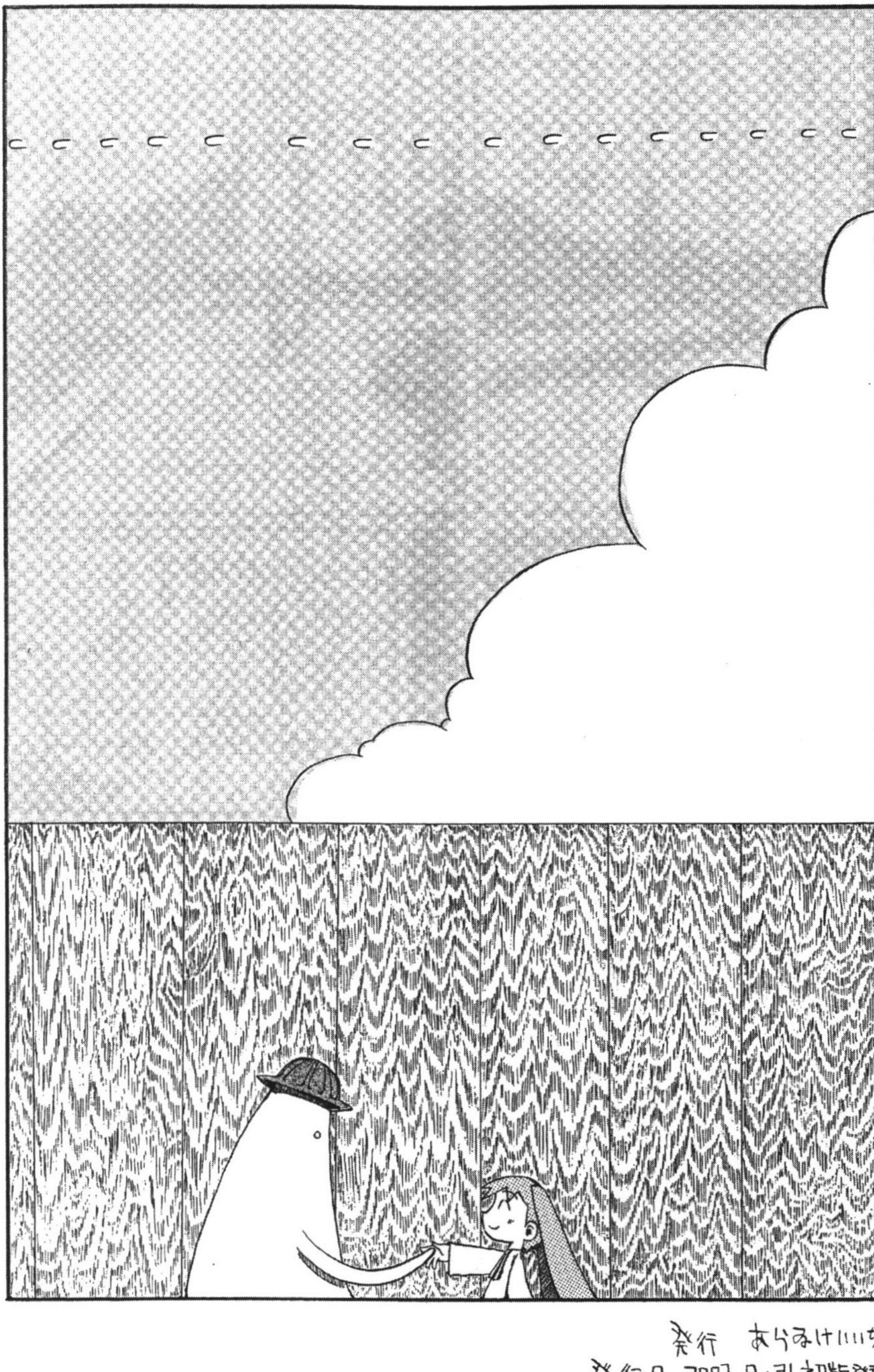



お水ー
桐ちゃん!!!
ぐびぐびぐび
ぷっは
むく
むく


もこ
もこ
もこ
ぺっ
スーッ
じゃ
そうゆうことだから
えっ
ちょっ
えっっ?


他人に映る私は本当の私じゃない
ちょっとした仕草容姿発せられた言動で他人は私の全てだと思ってしまう自分がつくった偽善の私を他人は私だと思っている。
それが人の全てだとしたらなんて悲しいことだろう。本当の自分を誰も知らず人生が終ってしまうんだ。
わからない世界でわかること
板の木目が水の流れと等しいように
動かぬ日々は着実に流れていること
全てが他人で成り立っていること
本当の自分が自分にもわからないこと
感情により世界が回りだすこと
他人の世界から見る私の世界の中で友人が死んだ。
他人の世界から見る私の世界の中で昔の私は消えていた。
それはとてもさびしかったこと。
だから私は思った
君のその声を――

私はその声を受け止めるんだって



発行　あらゐけいいち
発行日 2003、8、31 初版発行